

平成 30 年度 独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院

第 3 回 地域医療支援病院運営委員会

第 3 回 地域協議会

日 時 平成 30 年 10 月 18 日 (木) 午後 2 時 30 分より午後 3 時 24 分

場 所 JCHO大阪病院 6階 会議室5

次 第

1. 開会挨拶
 - ① 病院長挨拶
2. 業務報告
 - ① 地域連携室
 - ② 医療福祉相談室
3. 質疑応答
4. 連絡事項

議事録(概要)

1. 開会挨拶

「お忙しい中みなさんお集まりいただきありがとうございます。ほんのひと月前まで 30 度を超す暑さで、暑い暑いと言っておりましたが、この 2、3日は寒いぐらいの陽気になってまいりました。ひとつおことわりしておきたいことがあります。免震ダンパーの問題です。今、詳しく検証しているところです。おそらく、かなり多くのところが使っていると思われますが、当院でも何本使われているのか、本当に交換が必要かどうか、ちゃんと検証いたしまして、結果が出ましたら、ご報告を申し上げます。それでは、第3回の会議を開かせていただきます。

2. 業務報告

1) 地域連携室の事務より資料に基づき以下の報告があった。

- ・救急・プライマリケア関係報告
- ・医療機器の共同利用報告
- ・開放型病床の利用報告
- ・産科オープンシステムの利用報告
- ・紹介率と逆紹介率報告
- ・地域医療研修報告
- ・その他（がん診療地域連携パスについて）
- ・紹介患者・逆紹介患者の地域分布

2) 医療福祉相談室の看護師より資料に基づき以下の報告があった。

相談内容

- ・退院支援に関して
- ・退院支援依頼患者以外の相談
 - ・看護師への相談
 - ・ソーシャルワーカーへの相談
- ・地域関係職種との合同カンファレンス参加件数報告
- ・がん相談

2. 質疑応答

外部委員： 訪問します！健康講座の件ですが、救急車を呼ぶタイミングについて、お話をされているようですが、これは、消防署の方にもお声がけをされているのでしょうか、

内部委員： いいえ、集中治療の認定看護師が行いました。これにつきましては、ヘルパーさんの方から依

頼がありまして、ご自宅やご近所で急に倒れたりしたとき、どういうタイミングで救急車を呼べば良いのかといったことのご依頼だったので、地域の訪問看護ステーションの看護師さんと当院の認定看護師とで行かせていただきました。訪問看護ステーションの看護師さんから、患者さんが、もし、こうなったら時は救急車を呼びましょうね、といった話や、集中ケア認定看護師の方からは、もし、気管が詰まった時には、こういうふうにしましょうといったことを簡単に説明した内容で、救急隊の方が、お話しされるような内容ではなかったです。

外部委員: 119番すべきなのか、救急安心センター大阪に連絡をすべきなのかという選択肢のところでは、行政サイドの方で、応じさせてもらった方がよかったのではないかと思います。110番であるとか、119番であるとかというタイミングについては、行政主体の指導のほうがベターなのではないかと考えます。

内部委員: タイミングを聞きたいというよりも、流れと全部の話を聞きたいといったような依頼だと思います。これからは、このような依頼が来たときは、こちらから消防署に連絡をして、一緒に来てもらうのが、いいかもしれませんね。

外部委員: 「うちのほうも聞きましたが、消防署の方にも、お声がけしておきますね。」という形で消防署にもご連絡をいただきましたら、いいと思います。

外部委員: 在宅医療を考える会という連携会なんですけど、これまで9月に救急の講演会は、消防署の6階のほうで「救急車を呼ぶタイミング」というテーマで開催させていただいて、すごく勉強になっています。ケアマネージャーさんや介護職の人もたくさん来てくださっています。救急車を読んだらまず何が必要か、保険証であるとか、最低限医療知識がなくてもできることを、ということ、すごく勉強になるので、続けていきたいと思っていたんですが、今回はタイミングが合わなくて、声はかけさせてもらったんですが、9月の講演会はなしということになったんです。

外部委員: 中学校の性教育のほうへも行っていただいているんですね。医師会に言ってくるのですが、福島区では手がつけられていないんです。医者がするより助産師さんの方が良いのかもしれないですね。

外部委員: 学校の保健の先生と定期的に会合をしていますので、この情報を流せば、他の学校でも依頼があるかもしれません。

外部委員: 入院病棟で患者さんが買い物に行かれたり、病棟に家族の方が来られた時、インターホンを鳴らしても、クラークさんがおられない場合は、中に入れないということがあります。気が付けば他の人も開けに行かれるそうなんですけど、何か良い方法があれば考えていただけないでしょうか、というのがひとつと、それから、救急治療を受けている方の家族が病院から呼ばれてあわてて外から入って来て救急の表示が出ているのに、迷われていてウロウロされているのを見かけます。これも何か考えていただけないでしょうか

内部委員: 昼間の時間内の話ですね、導線をもう一度考えます。

内部委員: 第一段階として、病棟に入る時のドアを開けるものを、固定のものにプラス、コードレスのものをもう1台用意して、クラークさんに持つように指導していきたいです。

外部委員: 予約センターに来られる患者さんの件ですが、昔だと医事課の受付と、紹介患者さんの受付の予約センターが別々のところにあったので、起こらなかったことですが、新病院になってから、予約センターが玄関から入ったすぐのところにあるので、整理券を取って待っているところに紹介患者さんでない方も、横から割り込んで尋ねてこられるので、先に並んで待っていた人と、もめるんです。

内部委員: 予約センターを総合案内と勘違いして行く人もいるから、総合案内はこちらですという表示を

置くのもひとつだし、予約センターの窓口でやっていることを、もっとわかるように、上のほうに書いておくのもひとつだと思います。

内部委員： 総合案内に以外に人が行かないんです。みんな予約センターのほうに来てしまうんです。保険証の確認もそうなんです。2階、3階でも確認するところがあるのに、みんな1階のところへ来て並ばれるんです。

外部委員： かかりつけ医からこちらに紹介して、入院していただいた方は、基本的に開放型病床を利用して、お伺いするようにしているんです。退院前には声をかけてくださいということで、その時には、念をおして帰ってくるんですが、合同カンファレンスというのが、今回の改訂でも点数がけっこう重きを置かれるようになって、高点数がとれるようになっているんです。合同カンファレンスを開催する時に招集ルートがしっかりしていればと思います。

内部委員： 退院支援職員スタッフ合同カンファレンスがあるとわかれば、全部にはいつているんですけど、逆に言うと退院支援にはいつていないその他の患者さんが帰られる時に、かかりつけ医もともとあるのか、ないのか、紹介があるのか、ないのか、そのへんまで全部把握しているわけではないので、退院支援職員の各担当病棟がありますので、そこでの働き、仕事自体も見直して入院患者さんの把握をもう少し総合案内

4. 連絡事項

次回の第4回地域医療支援病院運営委員会は平成31年1月26日(土)午後2時30分よりリーガロイヤルホテル2階(松の間)で、地域医療研修委員会と開放型病床運営委員会の合同で開催いたします。また、当日は午後3時30分より「平成30年度・地域医療連絡会」が開催され、学術講演会と懇親会が開催されますのでご参加をよろしく申し上げますとの連絡があった。

以上

(午後3時24分閉会)
平成30年10月18日

平成30年度 第3回 JCHO 大阪病院

地域医療支援病院運営委員会及び地域協議会名簿

日時:平成30年10月18日(木)午後2時30分

場所:6階 会議室5

		職名	氏名	出・欠
委員	大阪病院	院長	山崎 芳郎	出席
委員長	大阪病院	副院長	富士 武史	出席
副委員長	大阪病院	副院長	畑中 信良	出席
委員	大阪病院	副院長	伊藤 敏文	出席
委員	大阪病院	事務部長	細川 博嗣	出席
委員	大阪病院	看護部長	田中 小百合	出席
委員	福島区医師会	会長	中島 滋郎	出席
委員	福島区医師会 大阪市在宅医療・介護連携支援相談室コーディネーター	副会長	松下 正幸	出席
委員	福島区医師会 大阪市在宅医療・介護連携支援相談室コーディネーター	理事	塚本 雅子	出席
委員	福島区歯科医師会	会長	高瀬 浩司	出席
委員	大阪市保健所	西部保健医療監	吉村 高尚	出席
委員	福島消防署	署長	大橋 健児	出席
委員	福島区薬剤師会	会長	伊東 敏行	出席
委員		(病院利用者)	雑賀 孝	出席
委員		(病院利用者)	西川 まさ子	出席

(関係部署)

	大阪病院	総務企画課長	宮川 広行	出席
	大阪病院	医事課長	魚澤 正克	出席
	大阪病院	医療福祉相談室 看護師長	三村 麻紀子	出席
	大阪病院	地域連携室 事務主任	小孫 健	出席